

コンポスト通信

Vol.8 令和5年12月発行

コンポストの安全性について

浄化センターでは、原料の脱水ケーキと完成したコンポストについて定期的に分析検査を実施しています（重金属の基準値は、肥料取締法で定められた値です）。

【重金属含有量】(令和5年10月実施)		
項目	測定値 (mg/kg・ D S)	基準値 (mg/kg・ D S)
総水銀	0.32	2
カドミウム	1.5	5
ヒ素	3.4	50
鉛	12	100
総クロム	33	500
ニッケル	29	300

【放射性セシウム含有量】(令和5年8月実施)		
項目	測定値 (Bq/kg)	暫定許容値 (Bq/kg)
Cs134	不検出	400
Cs137	4.5	400

「山形コンポスト」は基準値をクリアしていますので、安心して使って下さい!!

コンポストの植害試験の報告について

植害試験とは、肥料や土壌等に含まれる重金属等の有害性を、植物の生育状況を観察することで総合的に判断するものです。試験する肥料を施用した植物、対照となる標準肥料を施用した植物それぞれを栽培し発芽、生育状況、異常症状（変色・枯死など）の比較を行い、植物に与える害の有無を確認します。

右の写真は今年9月に山形コンポストを専門の計量証明事業所より試験してもらった時の結果です。上が山形コンポストを施用した植物ですが、良好な発芽・生育状況と、異常症状の無いことが認められ、合格の判定を頂きました。

「菌体りん酸肥料」について

「菌体りん酸肥料」とは、農林水産省が取り組み今年10月から新しく出来た肥料の規格です。下水やし尿処理等で発生した排水処理活性沈殿物を使用しており、肥効成分や品質管理方法等について国から認められた肥料として登録する事が出来ます。これまで下水等から得られた資源の一部は「普通肥料」として利用されていましたが、昨今の肥料価格高騰の影響や国の指導もあり、下水資源の肥料化・拡大が推進されています。

現状、山形コンポストは昭和55年に「普通肥料」としての認可を受けて以来、40年以上に渡り品質の向上に努めており、利用者の皆さんからも長年ご好評を頂いておりますが、この新規格を利用する事で他の肥効成分の配合が可能になる等用途の拡大が見込まれるため、この新規格への登録を検討しています。



(上) 山形コンポストを施用した小松菜
(下) 標準肥料を施用した小松菜

コンポスト農園から

皆さんが作業している所にお邪魔して、様々な話を伺いました。



収穫が遅れたため、股になった大根がたくさん積れたそうですが、味は一本のものと変わらないと教えて頂きました。今回収穫した大根と白菜を、浄化センターの職員にも分けて頂きました。大変美味しく頂きました、ありがとうございます。

YouTube公式チャンネル（チャンネル名：山形市上下水道部公式チャンネル）では、農園をはじめ山形コンポストについて詳しく紹介している動画を挙げています。どうぞご視聴&チャンネル登録よろしくお願いします。

とれたて野菜でつくりませんか

～春菊しらす炒め～

【材料】春菊 … 1束 しらす … 大さじ2～3
ごま油 … 大さじ2～3

【作り方】①春菊は洗って水気を切った後、葉の部分は大きめのざく切りに、茎の部分は斜めの薄切りにします。
②フライパンにごま油としらすを入れ、しらすがカリカリになるくらいまで炒める。
③熱いままのしらすを、炒めた油も一緒に春菊にかけて和えたら出来上がりです。
※しらすやごま油の量は好みで調節してください。春菊の茎が固い場合は、茎をしらすと一緒に炒めると火の通りがちょうどよくなります。



あとがき

7月4～6日に山形県立工業高校からインターンシップの学生さんが来て、コンポスト農園にも取材しに行きました。お互いに充実した時間になったようでした。

8月21日、江南公民館において農園利用者向けの講習会を開催しました。今回は講師に「山形コンポスト」の製造元である東北三共有機株式会社の阿部博氏をお迎えして、コンポストを用いての効果的な土づくりについてご指南頂きました。受講者の方からは「また詳しく教えてほしい」「今度は土作りをする前の時期に開いてほしい」等のご意見・ご感想を頂きました。これらを活かして、来年度の開催については順次検討していますので、よろしくお願いします。

今号が届く頃に寒さや雪はどうなっているでしょうか。酷くならなければいいですね。家で暖かく過ごす時間の中、コンポスト通信を読んで頂けたら幸いです。（大橋）